

A. 電気所（発電所、変電所、配電塔）における変圧器の空き容量一覧

【留意事項】

(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
 ※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
 ※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
 ※4 5バンク運用のため1バンク故障時を考慮し4バンク分の容量を記載
 ※5 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮

(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。

(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
 その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 1バンク変電所（分割運用等含む）のため
 #2 配電用変電所のため（高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。）
 #3 設備容量の制約により、N-1電制を適用しても運用容量が拡大しないもの

(5) N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能容量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能容量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。

(6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆流対策が必要になる可能性があります。

(7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

(8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

(9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
A	西播	500	275	3	2850	2850	熱容量	630	630	不可 # 3	-	※2、5
B	北摂	500	275	3	2850	2850	熱容量	25	25	不可 # 3	-	※2、5
C	猪名川	500	275	3	2850	2850	熱容量	396	396	不可 # 3	-	※2、5
D	新綾部	500	275	2	1900	1425	熱容量	1368	1368	可	475	※5
E	嶺南	500	275	3	2850	2850	熱容量	839	839	不可 # 3	-	※2、5
F	西京都	500	275	3	2850	2850	熱容量	2850	2850	不可 # 3	-	※2、5
G	南京都	500	275	3	2850	2850	熱容量	1724	1724	不可 # 3	-	※2、5
H	新生駒	500	275	2	1900	1425	熱容量	13	13	可	475	※5
I	紀の川	500	275	3	2850	2850	熱容量	2207	2207	不可 # 3	-	※2、5
J	能勢	500	275	2	2850	2137	熱容量	1724	1724	可	713	※5
K	金剛	500	275	2	1900	1425	熱容量	399	399	可	475	※5
L	猪名川	500	154	3	2137	2137	熱容量	2063	2063	不可 # 3	-	※2、5
M	西京都	500	154	2	1425	1068	熱容量	1068	1068	可	357	※5
N	南京都	500	154	3	2137	2137	熱容量	1724	1724	不可 # 3	-	※2、5
O	新生駒	500	154	3	2137	2137	熱容量	2137	2137	不可 # 3	-	※2、5
P	信貴	500	154	4	2850	2137	熱容量	237	237	可	713	※3、5
Q	御坊	500	77	2	570	313	熱容量	0	0	可	245	※5
R	奥多々良木	500	77	1	285	285	熱容量	142	142	不可 # 1	-	※1
A A	伊丹	275	154	2	570	427	熱容量	427	34	可	143	※5
A B	北大阪	275	154	3	665	570	熱容量	570	282	可	95	※2、5
A C	淀川	275	154	3	950	712	熱容量	712	712	可	238	※2、5
A D	東大阪	275	154	3	997	855	熱容量	477	13	可	142	※2、5
A E	新愛本	275	154	1	190	190	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1、*1
A F	西播	275	77	2	570	427	熱容量	146	146	可	143	※5
A G	南赤穂	275	77	1	285	285	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1
A H	姫路	275	77	2	570	427	熱容量	163	25	可	143	※5
A I-1	飾磨港	275	77	2	570	427	熱容量	335	25	可	143	※5
A I-2	飾磨港	275	77	1	285	285	熱容量	92	25	不可 # 1	-	※1
A J-1	南姫路	275	77	2	570	427	熱容量	351	0	可	143	※5
A J-2	南姫路	275	77	1	285	285	熱容量	285	29	不可 # 1	-	※1
A K	北摂	275	77	3	855	712	熱容量	351	25	可	143	※2、5
A L-1	高砂	275	77	2	570	427	熱容量	427	25	可	143	※5
A L-2	高砂	275	77	1	427	427	熱容量	427	25	不可 # 1	-	※1
A M	新加古川	275	77	2	380	285	熱容量	85	25	可	95	※5
A N	東播	275	77	3	855	855	熱容量	756	25	不可 # 3	-	※2、5
A O	西神戸	275	77	4	950	712	熱容量	671	25	可	238	※3、5
A P	神戸	275	77	3	855	855	熱容量	855	25	不可 # 3	-	※2、5
A Q	新神戸	275	77	4	950	712	熱容量	712	25	可	238	※3、5
A R	三宮	275	77	2	570	427	熱容量	427	25	可	143	※5
A S	新綾部	275	77	4	1045	1045	熱容量	860	860	不可 # 3	-	※3、5
A T	伊丹	275	77	3	855	855	熱容量	855	34	不可 # 3	-	※2、5
A U	北豊中	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	※5
A V	下穂積	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	※5
A W	小曾根	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	※5
A X	嶺南	275	77	2	380	285	熱容量	56	56	可	95	※5
A Y	湖東	275	77	5	855	855	熱容量	855	839	不可 # 3	-	※4、5
B A	西京都	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	※5
B B	北大阪	275	77	3	665	570	熱容量	570	282	可	95	※2、5
B C	淀川	275	77	3	855	855	熱容量	855	855	不可 # 3	-	※2、5
B D	西大阪	275	77	1	285	285	熱容量	273	273	不可 # 1	-	※1
B E	甲賀	275	77	3	855	855	熱容量	657	54	不可 # 3	-	※2、5
B F	湖南	275	77	4	1140	855	熱容量	855	477	可	285	※3、5
B G	栗東	275	77	3	855	855	熱容量	855	26	不可 # 3	-	※2、5

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
BH	洛南	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	※5
BI	枚方	275	77	2	570	427	熱容量	427	13	可	143	※5
BJ	新寝屋川	275	77	2	570	427	熱容量	427	13	可	143	※5
BK	新生駒	275	77	2	570	427	熱容量	427	13	可	143	※5
BL	東大阪	275	77	3	665	570	熱容量	570	13	可	95	※2、5
BM	南河内	275	77	3	855	855	熱容量	855	13	不可 # 3	-	※2、5
BN	泉南	275	77	3	855	855	熱容量	731	731	不可 # 3	-	※2、5
BO	南大阪	275	77	4	1140	855	熱容量	855	399	可	285	※5
BP	泉北	275	77	2	570	427	熱容量	427	70	可	143	※5
BQ	北葛城	275	77	4	950	950	熱容量	750	399	不可 # 3	-	※3、5
BR	紀の川	275	77	2	570	313	熱容量	94	94	可	257	※5
BS	海南港	275	77	2	570	313	熱容量	0	0	可	235	※2、5
BT	多奈川	275	77	2	570	427	熱容量	130	130	可	143	※5
BU	変電所	275	154	2	-	-	-	0	0	-	-	◇
CA	西宮	154	77	2	475	356	熱容量	356	34	可	119	※5
CB	南大浜	154	77	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 3	-	※3、5
CC	西島	154	77	2	377	283	熱容量	174	174	可	94	※5
CD	神崎	154	77	2	475	356	熱容量	356	288	可	119	※5
CE	御幣島	154	77	2	380	285	熱容量	285	285	可	95	※5
CF	小曾根	154	77	2	380	285	熱容量	285	282	可	95	※5
CG	豊崎	154	77	2	380	285	熱容量	285	282	可	95	※5
CH	西三国	154	77	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 3	-	※2、5
CI	新鳥飼	154	77	2	475	356	熱容量	356	356	可	119	※5
CJ	円町	154	77	2	475	356	熱容量	356	295	可	119	※5
CK	島原	154	77	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 3	-	※2、5
CL	荒神口	154	77	2	475	356	熱容量	356	10	可	119	※5
CM	横大路	154	77	4	855	855	熱容量	855	806	不可 # 3	-	※3、5
CN	新八幡	154	77	2	475	356	熱容量	342	10	可	119	※5
CO	奈良	154	77	3	712	712	熱容量	607	607	不可 # 3	-	※2、5
CP	蹴上	154	77	2	475	356	熱容量	356	10	可	119	※5
CQ	古川橋	154	77	4	926	926	熱容量	926	747	不可 # 3	-	※3、5
CR	本町	154	77	3	570	570	熱容量	570	570	不可 # 3	-	※2、5
CS	野江	154	77	3	570	570	熱容量	570	570	不可 # 3	-	※2、5
CT	空心町	154	77	2	380	285	熱容量	285	285	可	95	※5
CU	猪飼野	154	77	2	475	356	熱容量	356	237	可	119	※5
CV	東意岐部	154	77	2	475	356	熱容量	356	355	可	119	※5
CW	堺港	154	77	5	950	760	熱容量	760	0	可	190	※4
CX	高島	154	77	2	190	142	熱容量	67	13	可	48	※5
CY	高津	154	77	2	475	356	熱容量	356	13	可	119	※5
CZ	新奈良	154	77	4	380	380	熱容量	380	13	不可 # 3	-	※3、5
DA	百済	154	77	3	712	712	熱容量	712	237	不可 # 3	-	※2、5
DB	本田	154	77	3	669	669	熱容量	669	94	不可 # 3	-	※2、5
DC	矢田	154	77	2	475	356	熱容量	356	237	可	119	※5
DD	八尾	154	77	3	570	570	熱容量	570	237	不可 # 3	-	※2、5
DE	中河内	154	77	2	475	356	熱容量	356	237	可	119	※5
DF	長曾根	154	77	3	760	570	熱容量	570	94	可	190	※2、5
DG	松屋	154	77	2	475	356	熱容量	356	0	可	119	※5
DH	敷津	154	77	3	712	712	熱容量	649	0	不可 # 3	-	※2、5
DI	萩之茶屋	154	77	2	475	356	熱容量	356	0	可	119	※5
DJ	新宮	154	77	3	256	125	熱容量	82	0	可	131	※2、5
DK	向日町	154	77	1	237	237	熱容量	237	237	不可 # 1	-	※1
DL	勢野	154	77	1	237	237	熱容量	237	237	不可 # 1	-	※1
DM	堺浜	154	77	2	475	356	熱容量	356	0	可	119	※5
DN	有馬	154	22	2	76	57	熱容量	57	34	可	19	※5
DO	生瀬	154	22	2	57	42	熱容量	21	21	可	15	※5
DP	野江	154	22	2	114	62	熱容量	62	62	可	52	※5
DQ	新曾根崎	154	22	5	665	522	熱容量	522	522	可	143	※4、5
DR	本町	154	22	3	285	209	熱容量	209	209	可	76	※2、5
DS	城見	154	22	2	85	47	熱容量	47	47	可	38	※5
DT	新宮	154	33	2	71	31	熱容量	12	0	可	40	※2、5
DU	テクノポート	154	22	3	171	171	熱容量	171	94	不可 # 3	-	※2、5
DV	城見	154	6.6	2	28	14	熱容量	14	14	不可 # 2	-	※1
DW	上本町	154	6.6	2	57	28	熱容量	28	28	不可 # 2	-	※1
EA	西淡	187	77	3	551	541	熱容量	393	248	可	10	※2、5
海A	須原	154	77	2	72	72	熱容量	2	0	不可 # 1	-	※1
海B	橋場	77	11	1	10	10	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1
海C	妻籠	77	11	1	6	6	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1
海D	落合	154	77	1	57	57	熱容量	7	0	不可 # 1	-	※1
海E	丸山	275	154	2	427	427	熱容量	24	0	不可 # 1	-	※1
海F	兼山	154	77	1	52	52	熱容量	8	0	不可 # 1	-	※1
陸A	新柳河原	154	11	1	52	52	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1
陸B	小牧	154	66	1	38	38	熱容量	1	0	不可 # 1	-	※1
陸C	利賀二	154	77	1	47	47	熱容量	0	0	不可 # 1	-	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備 考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
陸D	成出	275	11	1	190	190	熱容量	3	0	不可 # 1	—	※ 1
陸E	小原	154	11	1	50	50	熱容量	4	0	不可 # 1	—	※ 1
陸F	祖山	275	6.6	2	57	57	熱容量	1	0	不可 # 1	—	※ 1
陸G	大牧	66	11	1	16	16	熱容量	0	0	不可 # 1	—	※ 1
陸H	平瀬	77	6.6	1	12	12	熱容量	1	0	不可 # 1	—	※ 1
陸I	鳩谷	275	13.2	1	49	49	熱容量	8	0	不可 # 1	—	※ 1
陸J	角川	154	11	2	29	29	熱容量	0	0	不可 # 1	—	※ 1
陸K	打保	154	11	2	28	28	熱容量	0	0	不可 # 1	—	※ 1
陸L	万波	154	6.6	1	13	13	熱容量	0	0	不可 # 1	—	※ 1

* 1 当該系統は、系統安定度等により制約がありますので、連系可能量については、別途詳細検討が必要となります。

B. 送電線の空き容量一覧

- 【留意事項】
- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
- ※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
 - ※2 3回線送電線のため1回線故障時を考慮し2回線分の容量を記載
 - ※3 4回線送電線のため1回線故障時を考慮し3回線分の容量を記載
 - ※4 1回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
 - ※5 ループ系統構成（電源線を含む）を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
- その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
- #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 1バンク変電所（分割運用等含む）のため
 - #4 安定度制約のため（制約が確認できているもの）
 - #5 設備容量の制約により、N-1電制を適用しても運用容量が拡大しないもの
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
1	播磨線	500	2	5568	3062	熱容量	1602	1602	不可 #1	-	※4
2	東播線	500	2	6580	3290	熱容量	821	821	不可 #1	-	
3	丹波線	500	2	5568	3062	熱容量	1469	1469	不可 #1	-	※4
4	能勢線	500	2	5568	3062	熱容量	747	747	不可 #1	-	※4
5	北河内線	500	2	6580	3290	熱容量	1738	1738	不可 #1	-	
6	南近江線	500	2	6580	3290	熱容量	2289	2289	不可 #1	-	
7	山城北線	500	2	5568	3062	熱容量	1883	1883	不可 #1	-	※4
8	山城東線	500	2	5568	3062	熱容量	2236	2236	不可 #1	-	※4
9	播磨中央線	500	2	6580	3290	熱容量	2102	2102	不可 #1	-	
10	播磨西線	500	2	6580	3290	熱容量	3139	3139	不可 #1	-	
11	播磨北線	500	2	6580	3290	熱容量	3150	3150	不可 #1	-	
12	大河内線	500	2	6580	3290	熱容量	3150	3150	不可 #1	-	
13	新綾部線	500	2	6580	3290	熱容量	1290	1290	不可 #1	-	
14	若狭幹線（山）	500	2	5568	3062	熱容量	2577	2577	不可 #1	-	※4
15	北近江線	500	2	6580	3290	熱容量	3244	3244	不可 #1	-	
16	送電線	500	2	-	-	-	406	406	-	-	◇
17	丹後幹線	500	2	5568	3062	熱容量	2232	2232	不可 #1	-	※4
18	送電線	500	2	-	-	-	662	662	-	-	◇
19	送電線	500	2	-	-	-	2057	2057	-	-	◇
20	送電線	500	2	-	-	-	2058	2058	-	-	◇
21	若狭幹線（里）	500	2	5568	3062	熱容量	2003	2003	不可 #1	-	※4
22	奥多々良木線	500	2	6580	3290	熱容量	1708	1708	可	1180	
23	送電線	500	2	-	-	-	1928	1928	-	-	◇
24	御坊幹線	500	2	6580	3290	熱容量	510	510	可	1180	
25	送電線	500	2	-	-	-	44	44	-	-	◇
26	南大和線	500	2	6580	3290	熱容量	3098	3098	不可 #1	-	
27	北大和線	500	2	5568	3062	熱容量	2870	2870	不可 #1	-	※4
28	送電線	500	2	-	-	-	1588	1588	-	-	◇
29	山城南支線	500	2	6580	3290	熱容量	3290	3290	不可 #1	-	
30-A	北和泉線	500	2	5568	2784	熱容量	2653	2653	不可 #1	-	
30-B	南和泉線	500	2	5568	3062	熱容量	2882	2882	不可 #1	-	※4
31	信貴線	500	2	5568	2784	熱容量	2145	2145	不可 #1	-	
90	金剛線	500	2	11096	3900	電圧安定性	5834	5834	不可 #1	-	※5
91	紀北線	500	2	6580	3290	熱容量	2429	2429	不可 #1	-	
32	赤穂火力線	275	2	3050	2288	熱容量	966	630	可	762	※4
33	送電線	275	2	-	-	-	1364	630	-	-	◇
34	西播線	275	2	764	574	熱容量	574	574	可	190	※4
35	飾磨港線	275	2	1256	942	熱容量	942	25	可	314	※4
36	姫一火力線	275	2	3616	2714	熱容量	824	25	可	902	※4
37	姫路火力西支線	275	2	1318	989	熱容量	32	25	可	329	※4
38	姫路支線	275	2	1318	989	熱容量	944	25	可	329	※4
39	姫路火力東線	275	2	1531	1148	熱容量	24	24	可	383	※4
40	姫二火力線	275	2	3062	2000	同期安定性	0	0	不可 #4	-	
41	姫路南支線	275	2	1318	989	熱容量	989	0	可	329	※4
42	新生駒線	275	2	3062	2000	同期安定性	0	0	不可 #4	-	
43	高砂火力線	275	2	3062	2296	熱容量	1383	25	可	766	※4
44	新加古川伊丹線	275	2	764	574	熱容量	29	25	可	190	※4
45	西神戸線	275	2	3062	2296	熱容量	488	25	可	447	※4
46	東播支線	275	2	3050	2288	熱容量	2272	25	可	762	※4
47	六甲線	275	2	2638	1979	熱容量	1979	25	可	659	※4
48	西神支線	275	2	3050	2288	熱容量	955	25	可	762	※4
49	北神線	275	2	3616	2714	熱容量	139	25	可	902	※4
50	三宮線	275	3	1311	1290	熱容量	25	25	可	21	※4

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
51	送電線	275	3	-	-	-	12	12	-	-	◇
52	三菱重工高砂線	275	2	816	612	熱容量	66	25	可	204	※4
53	宝塚線	275	2	3062	2296	熱容量	34	34	可	766	※4
54	伊丹線	275	2	1808	1357	熱容量	475	34	可	451	※4
55	新神戸線	275	2	1318	989	熱容量	121	34	可	329	※4
56	西京都線	275	2	3062	2296	熱容量	2296	2296	可	766	※4
57	送電線	275	2	-	-	-	1148	1148	-	-	◇
58	湖東線	275	2	1531	1148	熱容量	1148	839	可	382	※4
59	送電線	275	2	-	-	-	868	839	-	-	◇
60	送電線	275	2	-	-	-	518	518	-	-	◇
61	喜探山線	275	2	1808	1357	熱容量	477	477	可	451	※4
62	湖南線	275	2	1808	1357	熱容量	943	477	可	451	※4
63	栗東線	275	2	764	574	熱容量	26	26	可	190	※4
64	甲賀線	275	2	958	718	熱容量	54	54	可	240	※4
65	南京都線	275	2	3616	2714	熱容量	2714	1724	可	902	※4
66	洛南支線	275	2	1946	1460	熱容量	1460	1460	可	486	※4
67	東大阪線	275	2	1318	989	熱容量	989	13	可	329	※4
68	新覆屋川支線	275	2	1946	1460	熱容量	1460	13	可	486	※4
69	西大阪線	275	2	3616	2714	熱容量	2301	1724	可	902	※4
70	西大阪東支線	275	2	1524	1144	熱容量	437	437	可	380	※4
71	北大阪線	275	2	1318	989	熱容量	282	282	可	329	※4
72	淀川線	275	2	1319	887	熱容量	887	887	可	431	※4
73	北豊中線、西大阪小曽根線	275	3	1714	1714	熱容量	1714	1714	不可 # 5	-	※2、4
74	西大阪小曽根線、小曽根支線	275	2	644	483	熱容量	483	483	可	161	※4
75	北豊中線	275	2	599	449	熱容量	449	449	可	149	※4
76	下穂積支線	275	2	570	427	熱容量	427	427	可	142	※4
77	東大阪新生駒線	275	2	3616	2714	熱容量	2714	13	可	902	※4
78	泉南東大阪線	275	2	1298	977	熱容量	977	13	可	321	※4
79	南河内支線	275	2	1525	1144	熱容量	1144	13	可	381	※4
80	多奈二火力線	275	2	1318	989	熱容量	989	989	可	329	※4
81	紀の川線	275	2	2328	1742	熱容量	1665	1665	可	586	※4
82	海南火力線	275	2	3062	2296	熱容量	2205	2205	可	766	※4
84	北葛城線	275	2	3676	2021	熱容量	1822	399	可	1180	※4
85	南大阪線	275	2	3616	2714	熱容量	1721	399	可	902	※4
86	南大阪泉北線	275	2	1046	784	熱容量	70	70	可	262	※4
87	鳴門淡路線	187	2	720	396	熱容量	248	248	可	250	※4
88	熊野幹線	275	2	1318	659	熱容量	184	184	可	689	
89	送電線	275	2	-	-	-	0	0	-	-	◇
101	西京都島原線	154	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 5	-	※4
102	円町支線2L	154	1	295	295	熱容量	295	295	不可 # 2	-	※1
103	西京都向日町線	154	1	426	426	熱容量	426	426	不可 # 2	-	※1
104	南京都奈良線	154	2	1089	817	熱容量	712	712	可	272	※4
105	南京都新八幡線	154	2	308	231	熱容量	10	10	可	77	※4
106	荒神口支線	154	2	573	430	熱容量	430	10	可	143	※4
107	蹴上支線	154	2	794	596	熱容量	596	10	可	198	※4
108	南京都横大路線	154	2	1075	806	熱容量	806	806	可	268	※4
109	天ヶ瀬支線	154	2	314	235	熱容量	143	143	可	79	※4
110	新生駒古川橋線	154	2	1074	747	熱容量	747	747	可	285	※4
111	新生駒野江線	154	3	1611	1611	熱容量	1611	1611	不可 # 5	-	※2、4
112	新曾根崎支線	154	3	670	670	熱容量	670	670	不可 # 5	-	※2、4
113	城見支線	154	2	255	191	熱容量	191	191	不可 # 5	-	※4
114	新生駒野江線	154	3	614	614	熱容量	614	614	不可 # 5	-	※2、4
115	新生駒本町線、本町南線、本町北線	154	3	777	777	熱容量	777	777	不可 # 5	-	※2、4
116	空心町支線、空心町南支線	154	2	388	291	熱容量	291	291	可	97	※4
117	新生駒本町線	154	3	739	739	熱容量	493	493	不可 # 5	-	※2、4
118	新曾根崎本町線	154	1	232	232	熱容量	232	232	不可 # 2	-	※1
119	上本町本町線	154	1	320	320	熱容量	320	320	不可 # 2	-	※1
120	東大阪古川橋線	154	2	304	228	熱容量	228	13	可	76	※4
121	高津線1L	154	1	251	251	熱容量	251	13	不可 # 2	-	※1
122	高津線2L	154	1	267	267	熱容量	267	13	不可 # 2	-	※1
123	高津線2L	154	1	251	251	熱容量	251	13	不可 # 2	-	※1
124	上本町支線	154	1	250	250	熱容量	250	237	不可 # 2	-	※1
125	猪飼野支線	154	2	480	360	熱容量	360	237	可	120	※4
126	本田線	154	3	669	669	熱容量	669	94	不可 # 5	-	※2、4
127	北大阪小曽根線	154	2	449	337	熱容量	337	282	可	112	※4
128	豊崎線	154	2	365	285	熱容量	285	282	可	73	※4
129	新鳥飼東支線	154	2	533	400	熱容量	400	400	可	133	※4
130	淀川西/東線	154	3	716	716	熱容量	716	712	不可 # 5	-	※2、4
131	西島支線	154	2	377	283	熱容量	175	175	可	94	※4
132	御幣島線	154	2	384	288	熱容量	288	288	可	96	※4
133	高島線	154	2	308	231	熱容量	21	13	可	77	※4
134	新奈良線	154	2	369	277	熱容量	26	13	可	92	※4
135	敷津松屋線	154	1	256	256	熱容量	256	94	不可 # 2	-	※1
136	敷津堺浜線	154	2	514	386	熱容量	226	0	可	83	※4
137	送電線	154	3	-	-	-	17	0	-	-	◇

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
138	長曾根支線 3, 4 L	154	2	748	561	熱容量	259	94	可	187	※4
139	堺港八尾線	154	2	536	402	熱容量	0	0	可	134	※4
140	堺港長曾根線	154	2	536	402	熱容量	10	10	可	134	※4
141	信貴百済線1/2L	154	2	487	365	熱容量	365	237	可	121	※4
142	信貴百済線1/2L	154	2	487	365	熱容量	365	237	可	121	※4
143	信貴百済線3L/信貴矢田線	154	2	1119	839	熱容量	839	237	可	279	※4
144	信貴矢田線/矢田支線	154	2	483	362	熱容量	362	237	可	120	※4
145	信貴敷津線1/2L	154	2	1069	1000	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
146	信貴敷津線3/4L	154	2	1090	1000	同期安定性	94	94	不可 # 4	-	※4
147	八尾線	154	2	857	643	熱容量	643	237	可	214	※4
148	信貴八尾線	154	2	2027	1520	熱容量	1195	237	可	507	※4
149	堺港新生駒線	154	2	500	375	熱容量	0	0	可	125	※4
150	東意岐部支線	154	2	474	355	熱容量	355	355	可	118	※4
151	中河内支線	154	2	474	355	熱容量	355	237	可	118	※4
152	敷津萩之茶屋線	154	2	484	363	熱容量	363	0	可	121	※4
153	堺港松屋線	154	2	479	360	熱容量	0	0	可	117	※4
154	テクノポート支線	154	3	420	420	熱容量	420	94	不可 # 5	-	※2、4
155	信貴勢野線	154	2	1323	727	熱容量	727	237	可	595	※4
156	南大浜線	154	4	1700	1275	熱容量	1275	1275	可	425	※3、4
157	伊丹支線	154	2	618	463	熱容量	463	463	可	154	※4
158	猪名川伊丹線	154	2	1090	817	熱容量	817	817	可	273	※4
159	神埼支線	154	2	498	373	熱容量	373	288	可	124	※4
160	伊丹西宮線	154	2	482	361	熱容量	361	26	可	120	※4
161	有馬線	154	2	236	130	熱容量	130	26	可	106	※4
162	生瀬支線	154	2	230	126	熱容量	105	26	可	104	※4
163	送電線	154	1	-	-	-	-	0	-	-	◇
164	送電線	154	1	-	-	-	-	0	-	-	◇
165	送電線	154	1	-	-	-	-	0	-	-	◇
166	送電線	154	1	-	-	-	-	0	-	-	◇
167	新宮線	154	2	236	130	熱容量	69	0	可	106	※4
168	小森新宮線	154	1	184	184	熱容量	124	0	不可 # 2	-	※1
169	新田町支線	154	1	247	247	熱容量	247	247	不可 # 2	-	※1
170	堺浜線	154	2	652	489	熱容量	334	0	可	570	※4
201	丸山幹線 (関～甲賀)	275	2	958	740	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
202	丸山幹線 (丸山～関)	275	2	958	719	熱容量	67	0	可	240	※4
203	御母衣北幹線	275	2	1318	659	熱容量	569	0	可	689	※4
204	新北陸幹線 (御母衣～栗東)	275	2	765	700	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
205	大黒部幹線	275	2	1319	950	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
206	新祖山線	275	1	479	479	熱容量	356	0	不可 # 2	-	※4
207	祖山線	275	1	479	479	熱容量	424	0	不可 # 2	-	※4
208	新北陸幹線 (御母衣～成出)	275	2	864	864	熱容量	567	0	不可 # 3	-	※4
209	送電線	275	1	-	-	-	467	0	-	-	◇
210	鳩谷支線	275	1	432	432	熱容量	249	0	不可 # 2	-	※4
211	送電線	275	1	-	-	-	337	0	-	-	◇
212	送電線	275	1	-	-	-	368	0	-	-	◇
213	新北陸幹線 (成出～城端)	275	2	864	648	熱容量	588	0	可	216	※4
214	新北陸幹線 (新愛本～城端)	275	2	864	864	熱容量	28	0	不可 # 3	-	※4
215	送電線	275	1	-	-	-	353	0	-	-	◇
216	新北陸幹線 (黒四～新愛本)	275	2	958	958	熱容量	440	0	不可 # 3	-	※4
217	関西幹線 (犬山～新奈良)	154	2	369	304	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
218	関西幹線 (関西丸山支線～笠置)	154	2	369	277	熱容量	0	0	可	92	※4
219	関西幹線 (大井～笠置)	154	2	404	318	熱容量	0	0	可	86	※4
220	兼山丸山線	154	1	95	95	熱容量	12	0	不可 # 2	-	※4
221	関西丸山支線	154	2	369	277	熱容量	0	0	可	369	※4
222	関西幹線 (関西丸山支線～犬山)	154	2	342	257	熱容量	0	0	可	342	※4
223	送電線	154	1	-	-	-	59	0	-	-	◇
224	須原大井線	154	2	304	228	熱容量	144	0	可	76	※4
225	木曾幹線 (須原～犬山)	154	2	304	228	熱容量	0	0	可	0	※4
226	送電線	154	1	-	-	-	38	0	-	-	◇
227	送電線	77	1	-	-	-	36	0	-	-	◇
228	送電線	154	2	-	-	-	149	0	-	-	◇
229	送電線	154	1	-	-	-	80	0	-	-	◇
230	滝越御岳線	154	1	118	118	熱容量	0	0	不可 # 2	-	※4
231	滝越小坂線	154	1	160	160	熱容量	2	0	不可 # 2	-	※4
232	送電線	154	1	-	-	-	114	0	-	-	◇
233	東海幹線	154	2	318	396	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
234	美濃幹線	154	2	318	396	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
235	飛騨新幹線 (滝越小坂線～北方)	154	2	376	282	熱容量	6	0	可	94	※4
236	飛騨旧幹線 (角川～北方)	154	2	270	203	熱容量	60	0	可	68	※4
237	飛騨旧幹線 (笹津～角川)	154	2	202	203	熱容量	60	0	不可 # 3	-	※4
238	北陸幹線 (松岡～高島)	154	2	308	170	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	※4
239	北陸幹線 (成出線～松岡)	154	2	308	231	熱容量	104	0	可	77	※4
240	北陸幹線 (小牧～成出線)	154	2	270	203	熱容量	55	0	可	68	※4
241	北陸幹線 (笹津～小牧)	154	2	270	203	熱容量	160	0	可	68	※4
242	送電線	154	1	-	-	-	70	0	-	-	◇

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
243	成出線	154	2	132	132	熱容量	5	0	不可 # 3	-	※ 4
244	送電線	154	1	-	-	-	93	0	-	-	◇
245	送電線	154	1	-	-	-	103	0	-	-	◇
246	送電線	154	1	-	-	-	109	0	-	-	◇
247	飛騨新幹線 (笹津～滝越小阪線)	154	2	376	282	熱容量	164	0	可	94	※ 4
248	牧支線	154	2	318	239	熱容量	198	0	可	80	※ 4
249	送電線	154	2	-	-	-	127	0	-	-	◇
250	打保支線	154	2	280	210	熱容量	184	0	可	70	※ 4
251	万波支線	154	1	155	155	熱容量	142	0	不可 # 2	-	※ 4
252	送電線	154	2	-	-	-	84	0	-	-	◇
253	柳河原線 (新愛本～笹津)	154	2	270	203	熱容量	133	0	可	68	※ 4
254	柳河原線 (新柳河原～新愛本)	154	2	308	231	熱容量	162	0	可	77	※ 4
255	送電線	154	1	-	-	-	98	0	-	-	◇
256	黒部幹線	154	2	308	231	熱容量	68	0	可	77	※ 4
257	送電線	154	2	-	-	-	262	0	-	-	◇
258	須原松島線	154	2	304	304	熱容量	220	0	不可 # 3	-	※ 4
259	送電線	154	2	-	-	-	0	0	-	-	◇
海1	大桑線 (落合側)	77	2	108	108	熱容量	89	0	不可 # 3	-	※ 4
海2	大桑線 (須原側)	77	2	100	100	熱容量	63	0	不可 # 3	-	※ 4
海3	与川線	11	1	5	5	熱容量	2	0	不可 # 2	-	※ 1
海4	相之沢橋場線	11	1	8	8	熱容量	0	0	不可 # 2	-	※ 1
海5	賤母線	77	1	54	54	熱容量	37	0	不可 # 2	-	※ 1
海6	今渡線	77	1	50	50	熱容量	6	0	不可 # 2	-	※ 1
海7	御母衣第二支線	77	1	50	50	熱容量	19	0	不可 # 2	-	※ 1
陸1	送電線	11	2	-	-	-	4	0	-	-	◇
陸2	黒羅線	11	1	8	8	熱容量	0	0	不可 # 2	-	※ 1
陸3	大牧線	66	1	43	43	熱容量	27	0	不可 # 2	-	※ 1
陸4	中野線	66	1	32	32	熱容量	11	0	不可 # 2	-	※ 1
陸5	送電線	66	1	-	-	-	29	0	-	-	◇
陸6	送電線	77	1	-	-	-	43	0	-	-	◇

* 1 当該系統は、系統安定度等により制約がありますので、連系可能量については、別途詳細検討が必要となります。

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空き容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	備 考
							当該設備	上位系考慮			
A1	A1フェンス(播磨線+能勢線)	500	-	-	5500	電圧	1725	-	-	-	
A2	A2フェンス(播磨線+北河内線)	500	-	-	5500	電圧	2488	-	-	-	
A3	A3フェンス(播磨線+南近江線)	500	-	-	5100	電圧	2639	-	-	-	
A4	A4フェンス(東播線+能勢線)	500	-	-	5500	電圧	716	-	-	-	
A5	A5フェンス(東播線+北河内線)	500	-	-	5500	電圧	1479	-	-	-	
A6	A6フェンス(東播線+南近江線)	500	-	-	5100	電圧	1630	-	-	-	
A7	A7フェンス(丹波線+能勢線)	500	-	-	5500	電圧	1592	-	-	-	
A8	A8フェンス(丹波線+北河内線)	500	-	-	5500	電圧	2355	-	-	-	
A9	A9フェンス(丹波線+南近江線)	500	-	-	5400	電圧	2806	-	-	-	
B	Bフェンス(能勢線,北河内線の最大+南近江線)	500	-	-	4500	電圧	1184	-	-	-	
C	Cフェンス(北大和,南大和の最大+信貴線,北和泉の最大)	500	-	-	3900	電圧	3069	-	-	-	